

発行所  
**石川県保険医協会**  
 〒920-0902 金沢市尾張町2丁目8番23号  
 太陽生命金沢ビル8階  
 ☎(076)222-5373番 FAX(076)231-5156番  
 URL http://ishikawahokeni.jp/  
 E-mail ; ishikawa-hok@doc-net.or.jp  
 発行人 三宅 靖  
 印刷所 ソナタ印刷株式会社  
 購読料 1年間 5,000円(〒共)  
 (\*本紙の購読料は会費に含まれます)

# 石川保険医新聞

## 主な記事

- 2面 写真で振り返る2019年
- 3面 小児科医からの発信
- 4面 地域で暮らすためにみんなで考える
- 8面 ドクターズ・ファミリー・コンサート

今月の会員数 / 1,033人(医科720人・歯科313人)

### 在宅医療講演会

## エンゼルケア 技術とグリーフケアの両面から

副会長 大川 義弘 (金沢市・内科)

### 死後の変化予測

「グリーフケアに繋がるエンゼルケアの重要性」最期のケアから見えてくるその人らしさ、豊かな人生とは何かを考えてみませんか?」と題した講演会が10月20日(日)に地場産業振興センターで開かれ、94人が参加し開催した(地場産業振興センター・10月20日)



94人が参加し開催した(地場産業振興センター・10月20日)



講師の宿原寿美子氏

「エンゼルケア」として、新たな分野での講演会になりました。一言で言うところ「荘厳」な講演でした。宿原さんのプロフィールを拝見しますと、テキサス州立大学 法医学研究所 法医学復元マスタークラス終了認定が目に付きました。そこで培われた専門的な知識と技術に裏付けられたエンゼルケアとしてプレゼンテーションされました。私も、患者さんにお亡くなりになったときに髭を剃ったり、着替えを手伝ったりしたこともありませんが、ご遺体を茶毘に付すまでに起る死後の変化を知り、変化の経過予測をした死後処置を行う必要があると初めて知りました。例えば敗血症で亡くなった方、はしつかり冷敗でとす黒く医療養担当規則の規定を遵



開業3年以内の会員を中心に9人が参加した(10月31日・ホテル金沢)

「知らなかった」「では許されない」という声も聞かれました。令和最初の新規開業医懇談会が10月31日(木)にホテル金沢にて行われた。前半の医科歯科合同の全体会では、齊藤典才理事が講師となり「保険診療のイロハ」と題して、具体的な例を挙げながら話した。保険医は保険医療機関において、健康保険法、医師法、歯科医師法、医療法、薬機法等の各種関係法令の規定を遵守し、その上で医療養担当規則の規定を遵

### 新規開業医懇談会

## 保険診療のイロハから 審査・指導の実際まで

理事 山本 司 (野々市市・歯科)

守し医学的に妥当・適切な診療を行い、診療報酬点数表に定められた通りに請求を行うことで成り立っている。また診療報酬点数表の理解が足りない点と返戻や査定になり、個別指導などでは自主返還の対象となると話した。

一方で個別指導・監査の現場で「知らない言いつつ」ということだが、保険診療を行うことは保険診療のルールを承知しているということ

「知らなかった」「では許されない」という声も聞かれました。令和最初の新規開業医懇談会が10月31日(木)にホテル金沢にて行われた。前半の医科歯科合同の全体会では、齊藤典才理事が講師となり「保険診療のイロハ」と題して、具体的な例を挙げながら話した。保険医は保険医療機関において、健康保険法、医師法、歯科医師法、医療法、薬機法等の各種関係法令の規定を遵守し、その上で医療養担当規則の規定を遵

### 患者が伝えきれなかった思い

こういつた技術的な面だけではなく、グリーフケアの観点からいくつか解説されました。患者さんの人生に対し敬意を持つ。家族が希望すればメイクを手伝っ

でもらいたい、家族の希望に沿ったメイクをする。患者が伝えきれなかった思い、気持ちを家族に伝えるなどです。

後半は医科と歯科に分かれて分科会が行われ、医科は私が担当した。歯科分科会では石川県保険医協会や全国保険医団体連合会がな

秋の好日、福島の郡山市を訪れた。折しも七五三、神社には着飾った親子の微笑ましい姿があった。しかし、私の心はそれほどに穏やかではなかった。その場には不似合いの、隠し持ちながら歩く「線量計」の針の動きに気が奪われていたからだ

### 具体的に ディスカッション

後半は医科と歯科に分かれて分科会が行われ、医科は私が担当した。歯科分科会では石川県保険医協会や全国保険医団体連合会がな

### 医心凡語

秋の好日、福島の郡山市を訪れた。折しも七五三、神社には着飾った親子の微笑ましい姿があった。しかし、私の心はそれほどに穏やかではなかった。その場には不似合いの、隠し持ちながら歩く「線量計」の針の動きに気が奪われていたからだ

『福祉マップ第10版』発刊

3月11日に『福祉マップ第10版』を発刊した。横山壽一氏による発刊記念講演会(6月8日)を開催したほか、『福祉マップ』を使った出前講座も行った。



北陸中日新聞から『福祉マップ』の取材も



社会保障セミナー

「旧優生保護法による強制不妊手術は医療者に何を突きつけているのか」(6月16日)



写真で振り返る

# 保険医協会の2019年

歯科学術講演会



島田淳氏「顎関節症の最新の考え方と治療法」(9月29日)



武石大輔氏「食物アレルギー」(7月7日)

定期総会記念講演では仲里尚実氏(左写真)、瀬長和男氏(右写真)をお招きし、沖縄の基地問題についてご講演いただいた。定期総会にて三宅靖先生が会長に就任した(3月24日)。



子どもの口腔崩壊

2018年11月に石川県内の小中高校と特別支援学校を対象にアンケート調査を行った。調査結果を踏まえ養護教諭と懇談し(3月29日)、調査結果の記者発表を行った(7月18日)。



高橋慶壮氏「歯周外科治療を日常臨床に取り込もう!」(11月17日)



歯科・厚労省との懇談(1月17日)

よろず勉強会

永田理希氏「あなたのその風邪薬に根拠はありますか?」(5月25日)「経口ペニシリン系抗菌薬という名の武器の使い方」(6月29日)、北岡政美氏「こんな苦情に心当たりは...?」(8月1日、右写真)、西念奈津江氏「わかっちゃいるけどやめられない」(9月26日、左写真)、井沢朗氏「ネット・スマホ依存症」(12月12日)



医師とコ・メディカルのための講演会



永田理希氏「次の世代に胸を張れる 抗菌薬&風邪薬の使い方をともに学びませんか」(10月6日)

文化企画

ツエーゲン金沢観戦ツアー(6月22日)を初開催したほか、酒蔵見学会「小松市・東酒造株式会社」(4月14日)、ゴルフコンペ(10月22日、記事9面)、かぶら寿司作り体験(11月4日、記事9面)、ドクターズ・ファミリー・コンサート(11月10日、記事8面)を開催した。



新規開業医懇談会(10月31日、記事1面)



在宅医療講演会／宿原寿美子氏「グリーンケアに繋がるエンゼルケアの重要性」(10月20日、記事1面)

医療制度改善を求めて

診療報酬引き上げと患者自己負担低減を求める会員署名、子どもの歯科矯正に保険適用の拡充を求める請願署名、保険で良い歯科医療を求める請願署名、消費税10%の10月実施の中止を求める請願署名



医療・福祉のエキスパート訪問



認知症地域支援推進員(1月31日)



成年後見制度連絡協議会(7月11日)

『石川保険医新聞』新連載

地域で暮らすためにみんなで考える(2月号~12月号)、福祉マップで福祉アップ(1月号~11月号)、イジMONO通信(4月号~連載中)、核兵器のない世界へ(8月号~連載中)、づめさんの銭湯ダイアリー(6月号~8月号)、のぼるくん世界を歩く(9月号~連載中)



「地域で暮らすためにみんなで考える会」のメンバーと古込和宏さん(写真中央)

原発・いのち・みらいプロジェクト

内部勉強会(土井妙子氏、2月28日)、おしどりマコ・ケン講演会(12月15日)、関電金品受領問題で会長声明発表、ICRPへのパブリックコメント提出



ICRPのホームページに掲載された石川県保険医協会が提出したパブリックコメント



NPO法人シェカリ(11月21日)



# 在宅生活を続けるためにヘルパー募集中！

石川県内灘町在住の加藤真弓さんは、2017年6月に筋肉が動かなくなる難病「筋萎縮性側索硬化症（ALS）」と診断され、闘病生活が始まりました。病状の進行が早く、気管切開（気切）しなければ寿命は長くて5年との余命宣告を受けました。家族に迷惑をかけたくないとの思いからなかなか気切に踏み込めずにはいましたが、大好きな子どもたちの成長を見守り、一緒に過ごすために、手術を受け自宅に戻るとの決意をされました。



今年10月、その思いは実現し、内灘町から重度訪問介護の支給決定を受け、介護保険と障害サービスを利用しながら大好きな家族と一緒に自宅での生活を続けています。しかし、医療行為のできるヘルパー・ステーションが少なく、入ってくれるヘルパーさんがいないという問題に直面しています。

現在、東京にある「全国障害者介護保障協議会」より3カ月の約束で自薦ヘルパーさんを派遣していただいているのですが、その方が帰られてしまうと加藤さんの在宅生活はたちまち立ち行かなくなり、病院に戻らなければならなくなってしまいます。

古達さんの地域移行を支援するために発足した「地域で暮らすためにみんなで考える会」として、何とか加藤さんの望む自宅での生活を応援したいと思っています。

介護福祉士などの資格がなくても呼吸器の使い方などは喀痰吸引などの研修（実施は特定の人を対象：通称第三号研修）で学ぶこともできます。もちろん医療行為のできるヘルパー、看護師・准看護師の資格を有する人で、加藤さんの介護に協力できそうな方がいましたら以下までご連絡をお願いいたします。

問い合わせ先：加藤真弓さんの妹・徳永さん（電話 090-2375-8871）

古達和宏さんが逝去してから早半年以上が経ちました。でも、古達さんを忘れた日は一度もありませ

今年8月、地域で暮らすためにみんなで考える会（以下、考える会）の仲間とともに彼の生まれ故郷で

彼が病院を出て地域で一人暮らしをしようと望んだ時から、残念ながらご両親

が、同じ病を持つ人たちや他の理由で自分らしく生き

心を動かす、少しずつです

## 生まれ故郷・輪島

ん。むしろ、古達さんへの思いは増すばかりで、彼がいかに偉大な人だったかを思い知らされる今日この頃です。

ある輪島へ出向きました。彼が最も愛した風景を見に、そして、彼を育んでくれたご両親に会いに。みんなで彼の仏前に手を合わせ

活動はこれから続く

## シリーズ 地域で暮らすためにみんなで考える

事務局 橋爪真奈美



古達さんの生まれ故郷・輪島の千枚田

第11回（最終回）

## 変化していく石川



との関係は途切れてしまいました。病院で最前線の治療を受ければ必ず病気が治ると信じておられたご両親の思いも、痛いほどよく分かります。

そんなご両親の反対を押し切っても、地域に、社会に飛び込んだ彼の行動は、結果として間違っていないのではなかったかと、対面した時のご両親の表情より確信しました。ご両親は私たちメンバーをとっても温かく迎え入れてくれました。もちろん、彼がいなくなった寂しさははかり知れませんが、にこやかに穏やかに在りし日の彼の話をいろいろと聞かせてくださいました。「この場に彼がい

た何て言うだろう？」といういろいろな想像しながら、優しく幸せな時間を送ることができました。

重度の障害があるというだけで、本人だけでなくご両親も大変なご苦労があったことと思います。ご家族の自立支援という側面も、考える会としてもっともつとバックアップできるように勉強していかなければならないとあらためて思いま



今年8月に「地域で暮らすためにみんなで考える会」メンバーで古達さんのご両親を訪問

が石川の地が変化し始めています。何かを成し遂げるためには、当事者の思いだけでなく、必要な力が必要です。不具合のある制度・政策、システムならば、それをきちんと修正してもらえ正してもらえ、一人ひとりの固有のニーズに合わせた社会保障の実現を目指していかねばと意を強くしました。

最後に、「石川保険医新聞」2020年新年号の予告になりませんが、先日、考える会のメンバーで座談

このシリーズはこれで終わりですが、古達さんが繋いでくれた仲間との活動は細々でもこれからもずっと続けていく所存です。今後とも応援のほどよろしくお願いたします！

# 年末・年始休務のご案内



保険医協会事務局は、下記の期間、休務いたしますので、ご了承ください。

12月28日（土）～1月5日（日）

## ニュース・ラード

## パタニティーハラスメント



「パタニティー」は父性のこと。「マタニティーハラスメント」は妊娠した女性への嫌がらせを意味しますが、こちらは、子をもつ男性が時短勤務や休暇・休業を希望した場合に、雇用者がそれを妨げる行為のことを指します。

育児休業を取った結果として、嫌がらせの配置転換や転勤を命じられた男性たちが今年に入り、不当性を訴え、提訴に踏み切るケースが複数発生しています。

「育児は女性がするもの」という性別役割分業意識はまだ根強いものの、家電量販店の男性トイレにオムツ交換台がないことを不当と訴える署名キャンペーンが始まるなど、変化の兆しも出てきました。（連合通信社）



# 速報 中・医・協・資・料

## —11月に入り、外来、在宅、入院、歯科など、 総論的議論も急ピッチで進行中

来年度の診療報酬改定に向けた中医協の議論に係る厚労省提出資料を以下に掲載する。この間、外来（かかりつけ医機能、大病院受診時定額負担）、調剤報酬（以上、10月30日）、在宅（在宅医療、在宅歯科医療、在宅薬剤管理）（11月6日）、医療従事者の働き方、ICTの利活用、情報共有・連携（以上、11月8日）、歯科医療（歯科外来診療、口腔疾患の重症化予防、口腔機能低下への対応の充実、生活の質に配慮した歯科医療の推進）、科学的な根拠に基づく医療技術の評価の在り方、個別技術の評価、在宅医療において使用する材料の評価（以上、11月13日）、入院（一般病棟入院基本料、特定集中治療室管理料、総合入院体制加算、抗菌薬適正使用支援加算）、医薬品の効率的かつ有効・安全な使用（以上、11月15日）、訪問看護、精神医療、認知症、明細書無料発行（以上、11月20日）、外来（生活習慣病、ニコチン依存症、外来化学療法）、入院（療養病棟入院基本料、データ提出加算）（以上、11月22日）、個別技術の評価、リハビリテーション、有床診療所（以上、11月27日）についての改定に向けた論点が示されている。

以下、上記項目のうち、多くの医療機関に共通する総論的論点を抜粋して掲載する。紙幅の都合で省略した項目については、厚労省ホームページ等を参照願いたい。（引用に当たり文章そのものには特に手を加えていない）

### <外来医療（その1）>（10月30日中医協）

#### ○ かかりつけ医機能

##### <現状・課題>

- 平成30年度診療報酬改定において、かかりつけ医機能の評価を充実させる観点から、かかりつけ医機能を有する医療機関における初診の評価としての機能強化加算の新設や、地域包括診療料等の施設基準の見直し等を実施した。
- 機能強化加算の届出を行っている医療機関に通院している患者の状況を見ると、かかりつけ医の有無や、健康診断の結果等の健康管理に係る相談等の実施率、他の医療機関の受診状況を把握している割合等について、届出を行っていない医療機関に通院する患者に比べて、高い傾向にあった。
- 機能強化加算の届出基準を満たすに当たって困難な要件として最も多かったのは、「地域包括診療加算、地域包括診療料、小児かかりつけ診療料、在宅時医学総合管理料、施設入居時等医学総合管理料のいずれかの届出をしていること」であった。
- 地域包括診療料の届出基準を満たすに当たって困難な要件として、「慢性疾患の指導に係る適切な研修を修了した医師を配置していること」「24時間対応をしている薬局と連携していること」「在宅医療の提供及び対象患者に対し24時間往診が可能な体制の確保等」「外来診療から訪問診療への移行実績」が多かった。
- 患者がかかりつけ医に求める機能として最も多かったのは「どんな病気でもまずは診てくれる」というものだった。

##### <論点>

- かかりつけ医機能の評価として、現行の機能強化加算及び地域包括診療料等について、患者がかかりつけ医に求める機能等を踏まえ、算定要件及び施設基準等を見直すことについて、どのように考えるか。
- 小児かかりつけ診療料及び小児科外来診療料について、それらの趣旨を踏まえ、対象患者等の要件を見直すことについて、どのように考えるか。

### <在宅医療（その1）>（11月6日中医協）

#### 1 在宅医療

##### <現状・課題>

- 訪問診療を主として行う医療機関から他の医療機関に訪問診療を依頼した患者について、依頼先の医療機関が実施する訪問診療の期間は6ヶ月以上の長期に渡ることが多い。一方、自施設が主治医として訪問診療を提供している患者のうち、他の医療機関に訪問診療を依頼した患者について、初回の訪問診療実施月に行った訪問診療の回数を「把握していない」との回答が多かった。
- 在宅療養支援病院について、24時間往診が可能な体制の整備が困難であるとの現場の声がある。
- 医療資源の少ない地域において、在宅医療を行う医療機関の許可病床数に係る要件緩和等が行われてきているところであるが、常勤職員の確保が困難であるとの現場の声がある。
- 在宅患者訪問褥瘡管理指導料について、初回のカンファレンスにおける評価がなされていない。

##### <論点>

- 在宅医療に係る現状や平成30年度診療報酬改定後の算定状況等を踏まえ、必要な見直しを検討してはどうか。

#### 2 在宅歯科医療

##### <現状・課題>

- 近年、施設において歯科訪問診療を実施している歯科診療所は、居宅で歯科訪問診療医療を提供している歯科診療所を上回った。
- 歯科訪問診療料の算定回数は全体的に増加傾向にあり、特に歯科訪問診療2及び3の割合が多い。
- 平成30年度診療報酬改定において在宅療養支援歯科診療所の施設基準の見直しを行ったところであり、令和2年3月31日まで経過措置中である。

##### <論点>

- 患者のニーズにあわせた歯科訪問診療を推進するために、近年における診療報酬改定の内容を踏まえ、どのような対応が考えられるか。
- 在宅等療養患者の口腔機能の維持向上を推進するために、どのような対応が考えられるか。

### <入院医療（その1）>（11月15日中医協）

#### ○ 一般病棟入院基本料

##### <論点>

- 重症度、医療・看護必要度Ⅱの届出状況を踏まえ、業務負担軽減等の観点から、Ⅱの届出を一定程度進めることについてどのように考えるか。
- 入院患者の医療の必要性に応じた適切な評価を行う観点から、急性期の入院患者の指標として、重症度、医療・看護必要度の判定基準のうち「B14又はB15に該当し、A1点以上かつB3点以上」の基準をどのように考えるか。
- 原則として入院で実施される医療を適切に評価する観点から、入院の必要性等に応じてA項目・C項目の評価対象の整理を行うことについてどのように考えるか。
- 該当患者割合の施設基準については、これらの見直しが該当患者割合に与える影響を踏まえて検討してはどうか。

### <入院医療（その2）>（11月22日中医協）

#### ○ 療養病棟入院基本料

##### <論点>

- 療養病棟入院基本料経過措置2は、令和2年3月31日までの経過措置となっているが、届出状況及び介護医療院の開設状況等を踏まえ、当該経過措置について、どのように考えるか。併せて、療養病棟入院基本料経過措置1についても、届出状況等を踏まえ、どのように考えるか。
- 医療区分3の「中心静脈栄養を実施している状態」について、療養病棟において、中心静脈栄養を長期に渡って実施している患者が存在していることを踏まえ、適切な中心静脈カテーテルの管理を推進する観点から、医療区分の評価を行う際に、中心静脈栄養の必要性の確認を求めるとを検討してはどうか。併せて、中心静脈カテーテル等を長期の栄養管理を目的として留置する際に、患者への適切な情報提供を推進する観点から、必要性や管理の方法について、患者又は家族等への説明を求めてはどうか。
- 排尿自立指導料について、膀胱留置カテーテルの抜去に向けた取組を推進する観点から、当該指導料を算定していない理由等を踏まえ、要件の見直しを行ってはどうか。

### <歯科医療>（11月13日中医協）

#### 1 歯科外来診療の充実

##### <現状・課題>

- 平成30年度診療報酬改定において、院内感染防止対策を推進する観点から歯科初診料及び歯科再診料の見直しを行った。
- 歯科初・再診料の院内感染防止対策に係る届出医療機関数は、令和元年10月1日現在、65,294施設（95%）であった。
- 歯科初・再診料の院内感染対策に係る施設基準で研修要件が規定されているのは、歯科医師のみである。
- 患者の理解が深まるよう、口腔内の状態や治療内容等について、紙面やモニターを用いて説明を行っている。

##### <論点>

- 歯科外来診療における院内感染防止対策等を充実させるための対応について、基本診療料やその加算、施設基準等を含め、どのように考えるか。
- 歯科医療機関での外来環境を充実させるため、歯科外来環境体制加算の要件等を見直してはどうか。

#### 2 口腔疾患の重症化予防等

##### <現状・課題>

- 歯科医療機関を受診した患者について、同一初診期間が6ヶ月以上である患者の割合は約25%であった。
- 歯周病は活動期と休止期を繰り返しながら進行することを踏まえた管理が重要である。
- 平成30年度に新設された小児に対する口腔機能管理は、「咀嚼機能の評価」が必須項目となっているため、乳歯萌出前の患者は対象となっていない。
- 平成30年度に新設された高齢者に対する口腔機能管理加算は、算定が伸びていない。
- 平成30年度診療報酬改定において、かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所の施設基準に、地域包括システムでの活動実績を追加した。この施設基準は、令和2年3月31日までの経過措置中である。

##### <論点>

- 歯科疾患の継続管理を更に充実させるために、その評価方法も含め、どのような対応が考えられるか。
- 歯周病等の歯科疾患は継続した治療等を行うことが重要であり、途切れることなく継続管理するために、長期管理への評価を行うことも含め、どのような対応が考えられるか。
- 小児に対する口腔機能管理について、口腔機能の維持向上に関する指導を充実させるためには、その評価方法も含め、どのような対応が考えられるか。
- 高齢者に対する口腔機能管理について、口腔機能の維持向上に関する指導を充実させるためには、その評価方法も含め、どのような対応が考えられるか。

# 核兵器のない世界へ — 医師の役割を考える

## 第5回 核兵器禁止条約制定に果たした医師の役割—ICAN—

白崎 良明(金沢市・内科、核戦争を防止する石川医師の会世話人)

今年も師走に入った。毎年、12月には国連総会が行われ、また、ノーベル平和賞授賞式も行われている。2017年のノーベル平和賞はICANが受賞したが、ここで核兵器禁止条約制定に果たした医師の役割を振り返ってみたい。

1996年にIPPNW、法律家、科学者が共同でモデル核兵器禁止条約を作成した。これは1997年、コスタリカによって国連に提出、加盟国に配布された。その後、2007年にコスタリカ、マレーシアにより、正式に核兵器禁止条約が共同提案された。

ICANは2006年、オーストラリアのティルマン・ラフ氏(現在:IPPNW共同会長)等により提唱された。NPT再検討会議では核兵器廃絶が一向に進まないことから、地雷禁止条約や、クラスター爆弾禁止条約締結にNGOと有志国が役割を果たしてきた教訓から、各国政府に核兵器禁止条約への交渉開始、支持などのロビー活動を行う運動として2007年に正式にIPPNWから呼びかけられ、国際的な取り組みとなった。

2010年9月、奈良で開催された「反核医師・医学者のつどい」はティルマン・ラフ氏による講演「NPT再検討会議とICAN運動」を行った。その翌日には金沢に来てもらい、提唱者であるティルマン・ラフ氏から、直接、ICANの理念、運動を学んだ。



2010年に核戦争を防止する石川医師の会にてご講演いただいた後に記念撮影(後列左から2番目がラフ氏)

2013年国連総会は毎年、9月26日を「核兵器の全面的廃絶のための国際デー：国連核廃絶デー」とすることを決め、2014年から、世界中で「国連核廃絶デー」の取り組みが行われてきた。「石川医師の会」は毎年5月に総会記念行事を行ってきたが、2015年からは、毎年9月26日前後に国連広報センター等の後援を得て、恒例の白衣による国際署名活動とともに、「国連核廃絶デー記念イベント」を開催してきた。昨年は被爆ピアノ・コンサート、今年は子ども向けの「ピースな楽校」、アサー・ピナード講演会を会場いっぱいの方々と楽しみ、若い世代への初めての取り組みとして好評であった。

2016年国連総会は「2017年に核廃絶に向けて多国間交渉を開始する」ことを決議し、2017年7月7日に核兵器禁止条約が制定された。「石川医師の会」は12月10日のノーベル平和賞授賞式当日に被爆者の皆さんとともに「ICANおめでとうアクション」を行い、ICAN傘下の団体として市民の皆さんとともに受賞を祝った。

2018年、長崎での「反核医師・医学者のつどい」ではティルマン・ラフ氏が「核兵器禁止条約の発効で長崎を戦争による最後の被爆地に」と講演した。その際に「石川医師の会」のこの間の取り組みを紹介し、持参されたノーベル平和賞メダルを見せてもらい、IPPNWの公式バッジを贈呈された。ICANには、「石川医師の会」もPANW(核戦争に反対する医師の会)の一員として参加してきたが、ティルマン・ラフ氏との交流も含めて市民社会の中で一定の役割を果たしてきたと考える。



2017年の「ICANおめでとうアクション」にて



ノーベル平和賞メダルとともに(写真右がラフ氏、写真左が筆者)

# 休業保障共済保険 5つのポイント

**point 1** 給付は長期(最長730日)、免責は短期(5日間)  
傷病休業給付金の給付期間500日を超えて連続して休業された場合は、長期療養給付金が最長230日給付されます。

給付額	
1口当たり 入院1日	8,000円
自宅1日	6,000円
	(通算500日まで)

**point 2** 入院はもちろん、自宅療養でも給付

**point 3** 所得にかかわらず定額の給付  
代診をおいても給付されます

**point 4** 掛け金は加入時のまま上がりません

加入年齢	~29歳	30~39歳	40~49歳	50~54歳	55~59歳
1口	2,500円	2,800円	3,000円	3,300円	3,700円

**point 5** 掛け捨てではありません  
脱退給付金が支払われます

◎申し込みは年3回。現在[加入日 2020年4月1日]分として募集中です。  
申込取扱期間 2019年9月17日(火)~2019年12月31日(火)

問い合わせ・資料請求は石川県保険医協会まで  
電話076(222)5373 FAX076(231)5156

# Dr. ぽんすけの ? 保険Q&A



**Q.** 早いな~もう今年も12月かあ~。あれ?年末年始の初・再診料の休日加算っていつが対象だっけ?

**A.** ぽんすけ先生、休日加算の対象となるのは日曜日と祝日に加え、年末年始では12/29~1/3です。今年の年末年始では下表の通りです(対象の日は○、対象外の日は×)。

12/28 (土)	12/29 (日)	12/30 (月)	12/31 (火)
×	○	○	○
1/1 (水・祝)	1/2 (木)	1/3 (金)	1/4 (土)
○	○	○	×

また、算定できるケースは以下の通りです。

- ① 休日当番医で休日加算の対象の日に診療した場合、診療時間内外ともに算定できる。
- ② 休日加算の対象の日に休診している場合、急病等の患者を診療したときに算定できる。
- ③ 休日加算の対象の日に診療している場合、診療時間外に急病等の患者を診療したときに算定できる(診療時間内は算定不可)。



ピアノ独奏：龍村俊樹（御経塚クリニック）



クラシックギター独奏：広崎晃雄（広崎外科医院）



尺八と二胡：左から西川忠之（にしかわクリニック）、井上友里（友人）



アンサンブル：さぶりーず  
左から山下景子（さぶりクリニック）、砺波由紀恵（さぶりクリニック）、佐分美代子（さぶりクリニック院長）、伊藤理奈（松原病院）



ピアノ独奏：龍村浩一（龍村俊樹先生のお孫様）

# 第13回 ドクターズ・ファミリー・コンサート 多彩な音色で聴衆を魅了

理事 濱田 久（かほく市・歯科）

一体、誰が想像し得たでしょう。ふたたび、金沢でリードオルガンの音色を奏でる日が与えられるなんて……！ 気管切開・人工呼吸器装着となり、一生、寝たきりかもしれない。その覚悟を強いられたあの日から2年

## 初出演の声 忍耐の旅路、感謝に溢れて

松原 葉子（筋ジストロフィー当事者）



リードオルガン独奏：松原葉子

苦しみの日々、人として寄り添い続けてくださった医療者お一人おひとりの姿を重ね、感謝に溢れたコンサートでした。

10カ月。ステージ上のスポットライトを浴びながら、嘆きと忍耐の長い旅路が、いつしか大きな喜びに変えられていくことに、ただただ胸を熱くしておりました。今、この瞬間を、生かされて在る意味を、深く心に刻みながら。

今回、「地域で暮らすためにみんなで考える会」つながりで出演させていただいた私は、皆さまの演奏に、和やかに心地よく浸りながら、「The practice of medicine is an art, based on science」というウィリアム・オスラー医師の言葉を思い巡らしておりました。

その後の懇親パーティーでは、飲食をしながらワイワイと出演者のオハコ演奏を聞くことができ、楽しい夜となりました。

三宅靖会長のあいさつに続いて演奏に参加したのは11月10日（日）金沢市民芸術村にて、2年に1度のドクターズ・ファミリー・コンサートが開催されました。

10グループで、ジャンルは邦楽、クラシックからジャズ、ポップスと多岐にわたっていました。

リードオルガンの心を震わせる命の希望。ピアノにフルート、クラリネット、ヴァイオリンにチェロ、ギター、尺八に二胡やボーカなど、実に多彩な音色が聴衆を魅了していました。

日頃、診療に忙殺されても、その努力をねぎらう温かい拍手が送られていました。



ジャズ：左から田中良一（友人）、北山吉明（北山クリニック）、馬場健史（友人）、居村猛（友人）



クラシック四重奏：Musico TOS with N  
左から瀧口哲也（金沢医療センター）、中西雄紀（金沢大学医学部学生）、岡部陽三（公立南砺中央病院）、渋谷和郎（富山県開業医）



クラシック三重奏：もてこしトリオ  
左から伊勢拓之（国立病院機構石川病院）、小川滋彦（小川医院）、越田潔（金沢医療センター）



開会あいさつに立つ三宅靖会長



司会を務めた濱田久理事



歌と演奏：お宮 & shige<sup>2</sup>そして松  
左から松寺悠（友人）、狩野宏成（かりの眼科医院）、宮島雅人（友人）、牛村繁（うしむら眼科クリニック）



ピアノ独奏：リヴァイ・ハウザー（武藤一彦先生宅への交換留学生）



フルート二重奏：左から武藤一彦（むとう小児科医院）、江端真理（同院）





落語のような楽しい解説を聞きながら

# 漬け込みの結果は…

真智 俊彦 (七尾市・内科)

かぶら寿司漬け込み体験 年に醤油作りで始まったに幸運にも夫婦で参加させ



四十萬谷本舗

盆がめいめいに用意され、

いろいろな漬物(チーズもあり)

ましたね。皆さんが揃う

すぐ接した部屋で見学者は

お話を聞いたり食事を楽しま

んだりできます。仕込み

棟は隣です。まず店先で

ちやつかり試食を楽しみま

## ゴルフコンペ2019 強風で苦戦しながら

理事 齊藤 典才 (金沢市・外科)

今年の石川県保険医協会ゴルフコンペは、10月22日(火・祝)に朱鷺の台カントリークラブ・眉丈台コースで開催しました。医師、歯科医師、コ・メディカルの計28人が参加。台風20号の影響でスタート時点では大雨も予想されていましたが、幸いにも雨は降らず、後半は晴れ間ものぞき秋らしい1日となりました。しかし、温帯低気圧に変わったとはいえ強風が吹き荒れる中でのゴルフが続き、皆さん苦労したことと思います。

優勝は渡辺宏先生(グロス93)で、低い弾道のドライバーショットや、あわやホールインワンというニアピン賞獲得など、素晴らしいプレーが随所に見られました。最後の表彰式では、平田副会長が調達した山形県産の豪華フルーツが参加者全員に配られ、和気あいあいとした雰囲気の中で皆さん楽しめたのではないのでしょうか。来年も行いますので、ぜひご参加ください。



## 名門コースで和気あいあいと

渡辺 宏 (野々市市・耳鼻咽喉科)

10月22日の即位礼正殿の儀が行われた祝日、朱鷺の台カントリークラブ眉丈台コースにて開催されました。こちらは男子プロのレジェンドたちがアドバイスして設計されたホールもあり、かつてミズノオープンが開催された県内の名門コースです。この日は台風20号の影響もあって強風で参加者の皆さんもかなり苦労されていたようです。さらに、クラシカルなコースでグリーンが小さい割に速く、アンジュレーションが大きくてカップに球が入るまで油断できませんでした。かくいう私も強風に力みが入ってOBを叩く始末でした。しかし、叩いたホールがダブルペリアにはまったのか? なんと優勝することができました。和気あいあいとラウンドさせていただいた同じ組の皆さんにももちろん感謝!感謝!ですね。また機会があれば参加させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。なお画像は名物ホールの1つである17番ショートホールのグリーン上にレイアウトされたバンカーです。



かぶの切れ目に塩漬けたブリの切り身を挟んでいく



5日ほど漬け込んで完成

おいしく頂きながら聞きま

一人に整然と用意してくだ

入れたかぶら6切れ、ブ

ブリをハサミで切って整え

がとうございました。

11月4日(月・祝)に四十萬谷本舗にてかぶら寿司漬け込み体験を開催しました。会員、ご家族、スタッフなど16人が参加し、漬け込み体験のほか、かぶら寿司や漬け物のランチを楽しみながら懇親を深めました。真智俊彦先生よりご寄稿いただきましたので、以下に掲載いたします。

# かぶら寿司漬け込み体験 風情ある店舗で 親睦も深めて

四十萬谷(僕はしじまやと

読めませんでした)本舗さ

んのお店が細い通りに面し

て静かにありました。古い

家屋を使っておられ、風情

のある佇まいです。カメラ

を肩に保険医協会事務局の

大田健志さんが優しい笑顔

で玄関先に待っておられま

した。

店先は販売部で、そこに

すぐ接した部屋で見学者は

お話を聞いたり食事を楽しま

# 会員リレーエッセー

◆◆243◆◆

## 夫婦でフライフィッシング

村田 慶子（金沢市・歯科）

寺中町で開院しています、村田と申します。夫婦で歯科診療を行っておりますが、休みの日も夫婦でフライフィッシングに出かけます。よくそんなに一緒にいられるなあと感かかれそうですが、フライフィッシング以外にも趣味が似ているので意外と大丈夫なようです。

フライフィッシングは毛針（疑似餌）を糸先に付け、糸と竿のしなりで毛針を飛ばし魚を狙う釣りです。重りが付いていないので、竿を持ってどう飛ばすかわかりにくく、さらに思ったところに飛ばすには練習が必要です。

最大の魅力は見える魚が釣れることです。魚の背からやんわりと毛針を落とし、魚が毛針を見つけて口に咥えた瞬間、合わせてフッキングさせる。フッキングしたら後はテンションを緩めないように引き寄せてネットにランディングさせる、この一連がすべて目視で確認できます。捕食する瞬間が見れることがなによりもドキドキするのだと思います。この瞬間を夫婦で共有できると楽しさ倍増です。

### SUDOKU 数独

9			5				7
		8	7		9	6	
	4						8
	1	6			2	4	
			8		5		
	8	9				5	7
	2						1
			7	4		2	3
6				1			9

二重枠（2つあります）に入った数字の合計はいくつになるでしょう。

【ルール】  
①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。  
②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

（答え3面）  
パズル制作/ニコリ

# のぼくん 世界を歩く



## 《第4回》イタリア編① 念願の「最後の晚餐」を鑑賞

小島 登（内灘町・歯科）



最後の晚餐の前で記念撮影

ミラノ、フィレンツェ、ベネチア、ローマの異なる文化と、権力の征服・没落による重ね塗られた積層を体験。絵画、彫刻、教会、建築の素晴らしさ、スケールの大きさに感動。アコーデオンのテノールの生歌を聴きながらのゴンドラ遊覧と、ダヴィンチの「最後の晚餐」の鑑賞が一番の思



びっくりするほど大きなミラノ風カツレツ

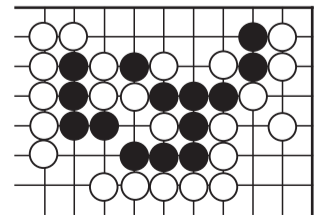
ミラノ、フィレンツェ、ベネチア、ローマの異なる文化と、権力の征服・没落による重ね塗られた積層を体験。絵画、彫刻、教会、建築の素晴らしさ、スケールの大きさに感動。アコーデオンのテノールの生歌を聴きながらのゴンドラ遊覧と、ダヴィンチの「最後の晚餐」の鑑賞が一番の思

古屋へ向かうJR北陸本線は何日も運休していたが、頼りになる北陸鉄道浅野川線と北陸新幹線に乗って東京へ向かうことができた。除雪に動しむスタッフや近所の人たちの姿に後ろ髪を引かれながら旅に出る。成田にて前泊する。  
2月8日（木）空港にて手続きを済ませ、出国。13時間の空の旅。時差マイナス8時間。  
2月9日（金）早朝のミラノの街は縦列駐車で埋め尽くされている。バスでの市内観光で付いた日本人の現地ガイドは驚くほど絵画、建物、歴史に詳しく、最後の晚餐」を鑑賞する時だけ、顔をのりきそうイタリア人が

原稿募集中 趣味や旅行記、医療・福祉に関してや平和、環境問題についてなど、会員寄稿をお待ちしています。編集部までご連絡ください。076(222)5373

### 碁 初級編

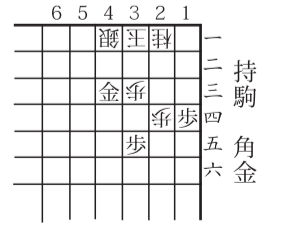
■出題 九段 石樽郁郎  
黒先（5分で1,2級以上）  
〈ヒント〉三手目の好手で、二眼を作ります。



（解答は3面にあります）

### 将棋 初級編

■出題 九段 西村一義



〈ヒント〉角の活用がポイントです。（10分で1級）

（解答は3面にあります）